

# 多自然川づくり施工管理基準（案）

23

20 7 22

“

“

”

”

“

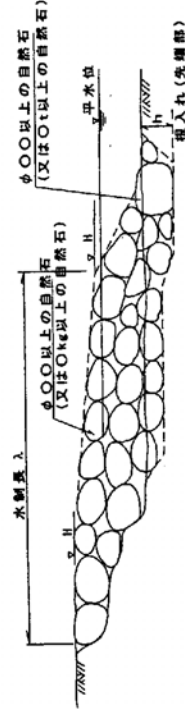
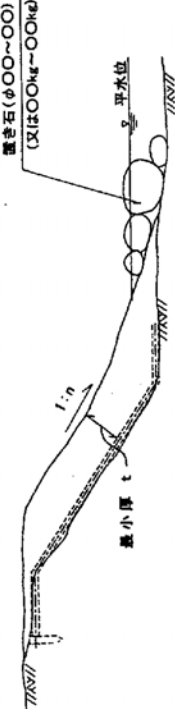
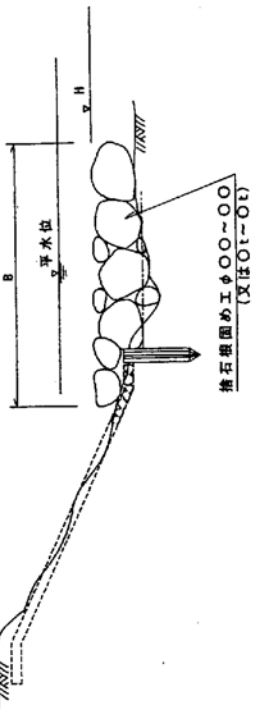
”

±

( )			

表一-2(1) 多自然川づくり工種別出来形管理の項目と目標値(案)

(単位の記載が無いものはmm)

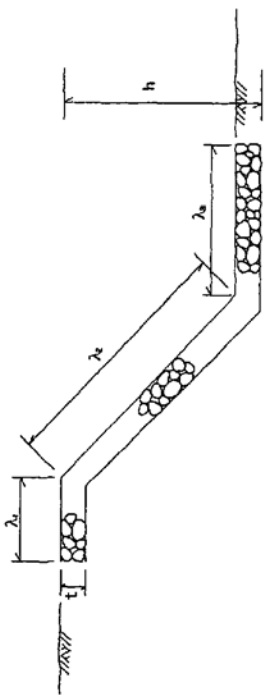
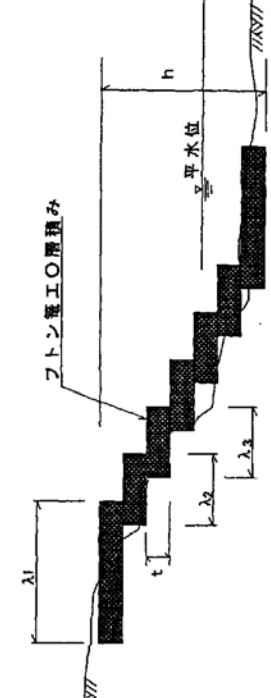
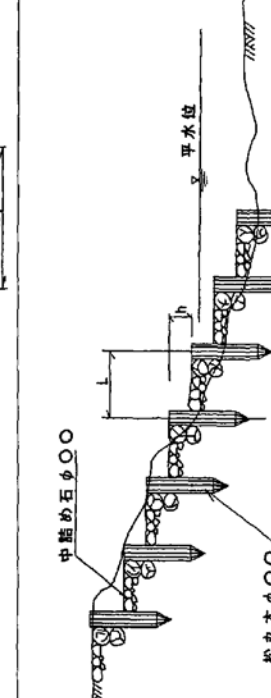
工種	測定項目	目標値(※注1)	測定基準	測定箇所
水制工	設置基数 n	±0基	1基ごと	
	フィックスポイントの高さH (先端部・脚部)	±200		
	根入れ深さ h	-200		
	水制の長さ ℓ	±0.05ℓ		
	水制の中心間隔 L	±1,000		
	材料(石)の大きさ (※注2)	φ00~φ00(又は00kg~00kg)表示 φ00程度 (又は00kg程度) 表示 φ00以上 (又は00kg以上) 表示		
覆土	覆土の最小厚 t (但し必要な場合のみ)	-200	<p>施工延長40m (測点間隔25mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m (又は50m) 以下のものは、1箇所につき施工箇所につき2箇所。</p> 	
	平均勾配 1 : n (同上)	-20%		
捨石 (根固め含む)	フィックスポイントの高さH (天端高など)	±200	<p>施工延長40m (測点間隔25mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m (又は50m) 以下のものは、1箇所につき施工箇所につき2箇所。</p> 	
	設置幅B	±300		
	石の大きさφ	(※注2) 水制に同じ		

※注1：出来形管理については、従来「規格値」として管理していたが、多自然型川づくりにおいては現場状況により異なるため「目標値」として取り扱うものとする。

※注2：石の大きさの指定は、径で指定する場合、重さで指定する場合、範囲も程度、～以上、○～○など、様々な様々なケースが見られる。

表-2(2) 多自然川づくり工種別出来形管理の項目と目標値(案)

(単位の記載が無いものはmm)

工種	測定項目	目標値(※注1)	測定基準	測定箇所
カゴマット	中詰め石の厚さ $t'$	-0.2 t (t:カゴの設計厚)	施工延長40m (測点間隔25m) の場合50m) につき1箇所、 延長40m(又 は50m)以下 のものは、1 施工箇所につ き2箇所。	
	法長 $l (= l_1 + l_2 + l_3)$	-200		
	法長 L	-200		
	高さ h	-100		
布団カゴ	中詰め石の厚さ $t'$	-0.2 t (t:カゴの設計厚)	施工延長40m (測点間隔25m) の場合50m) につき1箇所、 延長40m(又 は50m)以下 のものは、1 施工箇所につ き2箇所。	
	法長 $l (= l_1 + l_2 + l_3 + \dots = \sum l)$	-200		
	法長 L	-200		
	高さ h	-100		
柵工	木杭の径 $\phi$	-20	施工延長40m (測点間隔25m) の場合50m) につき1箇所、 延長40m(又 は50m)以下 のものは、1 施工箇所につ き2箇所。	
	木杭の長さ $l$ 、間隔 L	-100		
	木杭の設置高さ h	$\pm 0.2 h$		

※注1：出来形管理については、従来「規格値」として管理していたが、多自然型川づくりにおいては現場状況により異なるため「目標値」として取り扱うものとする。  
 ※注2：石の大きさの指定は、径で指定する場合、重さで指定する場合があり、範囲も～程度、～以上、○～○など、様々である。(実績も様々なケースが見られる)

表-2(3) 多自然川づくり工程別出来形管理の項目と目標値(案)

(単位の記載が無いものはmm)

工種	測定項目	目標値(※注1)	測定基準	測定箇所
柳枝工	(必要なし～機能検査のみ)			
巨石工 空石張工	石の大きさφ	(※注2) 水制に同じ	施工延長40m (測点間隔25m の場合は50m) につき1箇所、 延長40m(又 は50m)以下 のものは、1 施工箇所につ き2箇所。	
	フィックスポイントの高さH、根入れh (ただし護岸として用いる場合のみ)	±200		
その他の工法	治水または環境機能上、必要と認められる箇所のみ出来形を管理する。			

※注1：出来形管理については、従来「規格値」として管理していたが、多自然型川づくりにおいては現場状況により異なるため「目標値」として取り扱うものとする。

※注2：石の大きさの指定は、径で指定する場合、重さで指定する場合があり、範囲も～程度、～以上、〇～〇など、様々である。(実績も様々なケースが見られる)

表-2(4) 多自然川づくり工種別出来形管理の項目と目標値(案)

編	章	節	枝番	工種	測定項目	目標値	測定基準	測定箇所
1	2	3	2	①河道掘削 (陸上部)	変化高	±100	施工延長40m(測定間隔25mの場合は50m)につき1箇所	<p>保安距離 (掘削前後ライン)もしくは (掘削前後管理ライン)</p> <p>平水位</p> <p>①河道掘削 (陸上部)</p> <p>②河道掘削 (水中部)</p> <p>掘削前後(変更) 掘削前後(計画)</p> <p>掘削前後を平行移動させる。</p>
				②河道掘削 (水中部)	変化高	±200	延長40m(又は50m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所	

※掘削量については、適切な方法で管理すること。





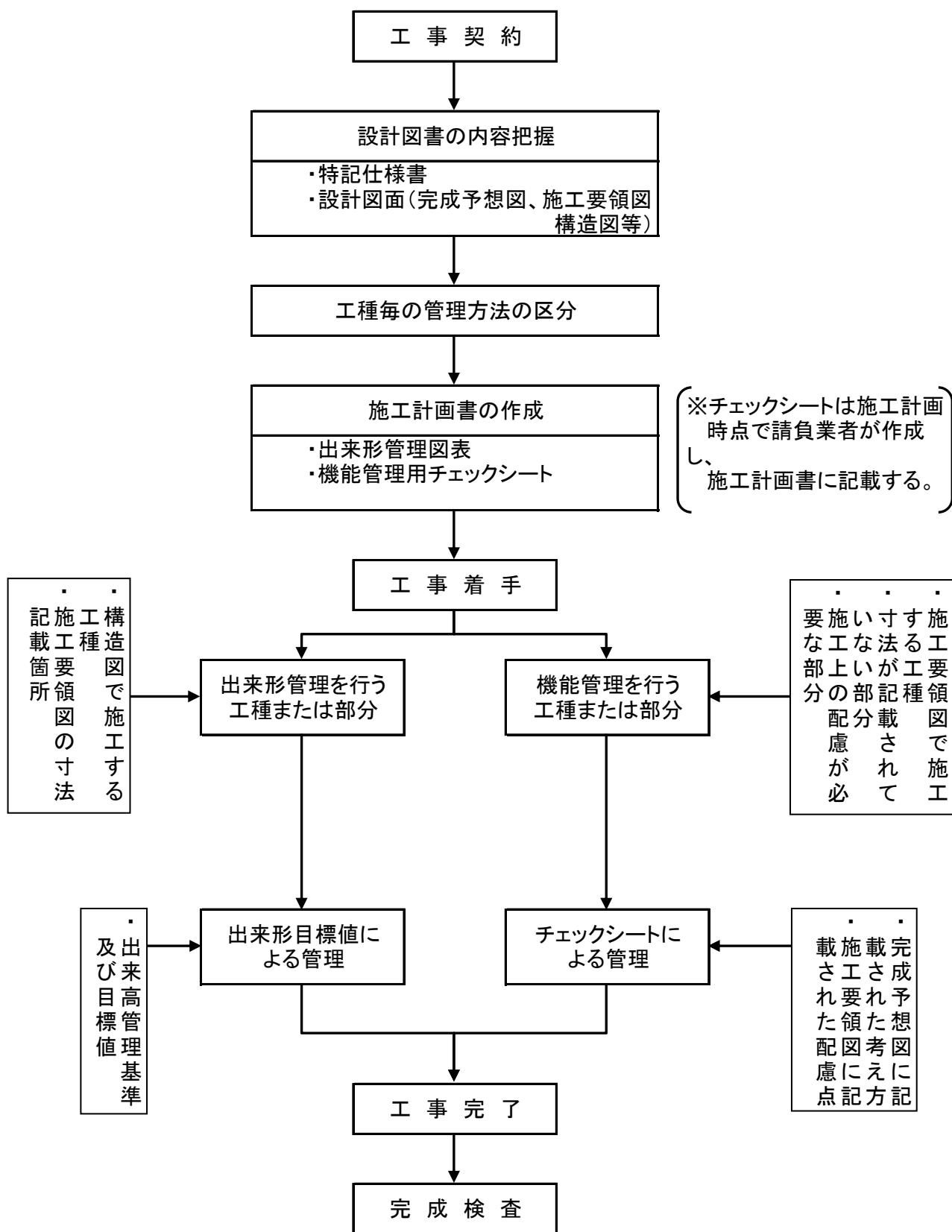


図-1 多自然川づくり工事の流れ

	.....	
		20 40

	.....	
	.....	

河道掘削施工要領参考図

